

首里城周辺map



散策メモ
琉球王国は、1429年から1879年までの450年間にわたり繁栄したが、薩摩藩の侵略と、廃藩置県という二段階を経て幕を閉じた。

散策メモ
 初代琉球国王の尚巴志(ショウハン)は、元々地方の按司(豪族)にすぎなかったが、才智を生かし初めて沖縄を統一する。その後、海外貿易での財源を背景に、首里城の拡張など、琉球王国繁栄の礎を築いた。

散策メモ
龍潭は、第2代尚巴志王により作られた人口の池。来琉した冊封使(さっぽうし-中国王朝からの使節)が作庭を勧めたと言われている。完成後は冊封使をもてなすため、池に船が浮かべられ、豪華な宴が開かれた。

第二尚氏王統の歴代国王が葬られている陵墓。全て石でできており、その構造と規模、独特の文化に圧倒される。

1429年から1879年までの450年間にわたり琉球王国の政治、文化、外交の中心として栄えた首里城。中国と日本、そして琉球の文化が合わさった独自の建築様式で造られていた。2019年10月に発生した火災により、一部立ち入りが制限されている。



琉球国王と王妃

